

ガイナ施工要領書

当製品は基本的には単層弾性塗料となんら異なる施工方法はありませんが、当製品の能力を十二分に発揮する為下記項目に留意し施工してください。

疑問の点があれば、必ず施工前にお問合せ下さい。

ガイナ1缶(14kg)を塗装面積 30 m²～35 m²で使い切れば、カタログ通りの性能を発揮致します。

事前準備

全ての塗装工事に言えることですが、ガイナの施工も『下地調整第一』の考えに基づいて施工をお願い致します。

さび、汚れはよく落とし素材に合ったプライマー(シーラー)にて処理し施工願います。

(コンクリート面は高圧洗浄機での洗浄をお願いします、鉄面は錆落とし清掃を入念に行ってください。)

[1] 攪拌等

すぐ塗装できる濃度に調整してありますが、セラミックが上部に浮いてきますので攪拌機により充分(3分以上)に攪拌してから使用してください。

ガイナは水溶性ですので、塗りにくい場合には上水を足して塗りやすい濃度にして下さい。

必ず電動攪拌機等で十分に攪拌して下さい。



希釈率

コテ	そのまま	
刷毛、ローラー	0～1,500cc	(1缶当たり)
ガン吹き	0～3,000cc	(1缶当たり)

[2] 下地処理

素材は必ずケレン、目荒らし、洗浄し(高圧洗浄)、素材に合った下地処理材で処理をして下さい。

コンクリート面は浸透、微弾性シーラー、鉄面は変性エポキシプライマー、被塗膜は密着バインダー等をお勧めします。

その他アクリルシリコン樹脂塗料とマッチする下地処理材で塗装可能です。

[3] 塗装

一度に厚塗りしますと亀裂の発生する恐れがありますので数回に分けて塗装して下さい。

塗膜が厚いほど防音性、断熱性、保温性を発揮します。

鉄板やボード等塗布面が滑りやすい箇所にローラー施工する場合は、1 回目は希釈量を多めにしてローラーが滑らずに回るような濃度で塗装し、2 回目以降通常希釈量で塗布量を確保して下さい。

遮熱仕様 0.20kg/m²×2 回(35 m²/缶計算)

遮熱・防音仕様 0.23kg/m²×2 回(30 m²/缶計算)

【注意事項】

ガン吹きによる塗装の場合、塗装時の塗料飛散防止等に充分注意すると同時に、周辺への告知、注意要請・伝達、養生に十分に留意して下さい。

[4] 乾燥

乾燥時間は 2 回とも各々、夏場で約 2 時間、冬場で約 4 時間必要です。

環境によって乾燥状態は異なりますので塗布面が乾いてから上塗り作業に移って下さい。

[5] 施工環境

雨天、強風、多湿の日を避け、天気の良い日を選んで塗装して下さい。

(水性塗材ですから、気温 5℃以上、湿度 65%以下の環境で施工して下さい。)

*施工に関する不明点は販売会社にお問合せ下さい。

*日光の直射を避け涼しいところで保管して下さい。

*品質・性能確保のため、製造後 3 ヶ月以内に使い切して下さい。

[6] 注意事項

取り扱い中は出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護マスクを着用して下さい。

また、塗装中、乾燥中ともに換気を良くし蒸気を吸い込まないようにして下さい。